

	原稿	提示する資料
1	<p>古典についてのお話をしたいと思います。</p> <p>「古典」とか「古典作品」というものは、ずいぶんと昔に書かれたもので、何百年・何千年もの間、人々に愛され続けている作品です。</p> <p>今ほど多くはありませんが、平安・室町などいろんな時代で発表された作品がありました。</p> <p>しかし、長い時間の中で、消えていった作品もたくさんありました。</p> <p>その中から、時代が変わって、人々の考え方とか流行とか常識が変わっても、ずっと読み継がれて、生き残ってきた作品があります。それを「古典」と呼んでいます。</p>	<p>パワーポイント (P C)</p>
2	<p>『竹取物語』は皆さんも一度は聞いたことのある「かぐや姫」の話です。</p> <p>これは、900年ごろにつくられたとされる日本で最古の物語です。</p> <p>平安時代に紫式部によって書かれた『源氏物語』の中でも、この『竹取物語』について「物語のいできはじめの祖」、つまり、作り話の元祖である、と書かれています。皆さんがこれから読む竹取物語を、あの紫式部も読んだことがあるということですよ。</p>	
3	<p>あらすじは知っていますか？</p> <p>(絵を映しながら)</p> <p>おじいさんがある日、光る竹の中から見つけた女の子を、かぐや姫と名付けて大切に育てます。美しく成長したかぐや姫、その美しさを聞きつけた人たちに結婚を迫られますが、すべてお断りします。なぜなら、彼女は月の都の人だったからです。そして十五夜の夜に月に帰っていきました。</p>	
4	<p>実はこの話、作者がわかりません。しかし、『竹取物語』の中に出てくる出来事が、各地に残る「羽衣伝説」などの説話や中国の話などに似ているものも多いので、当時そういう知識を手に入れるため、漢文で書かれた本を読むことができた身分の高い男性の学者か僧侶ではないかとされています。</p>	
5	<p>かぐや姫に結婚を申し込む5人の貴族のうち3人は、実際に存在していた人物の名をもとつけられています。また残りの2人も、「この人ではなからうか？」と思われる人がいます。</p> <p>この人たちは、『竹取物語』ができた平安時代に生きていた人たち(読者)にとっては、とても有名な人物でした。たと</p>	

	<p>えて言うなら、皆さんが読んでいる小説の登場人物の名前が「坂本龍馬」と「西郷隆盛」だった、みたいな感じです。</p> <p>この5人はかぐや姫に求婚しますが、結婚の条件として難題を出され、ことごとく失敗していきます。この失敗談から言葉が生まれたのだという語源の話も載っています。</p> <p>また「富士山」がなぜ「富士山」と呼ばれるようになったのかという話も載っています。</p> <p>ここまで聞いて話が気になった人は、図書館の古典の棚にある『竹取物語』の口語訳の本を読んでみてください。</p>	
6	『竹取物語』は、小さいころに読んだ『かぐや姫』より詳しくて発見もあるので、じっくりとその世界を楽しんでくださいね。	

【参考図書】

絵で読む日本の古典 1 竹取物語	監修 田近洵一	ポプラ社	佐世保市立図書館
本物の絵巻を現代語で読む 竹取物語絵巻	樺島忠夫	勉誠出版	〃
はじめてであう日本の古典 竹取物語	今西佑行	小峰書店	学校図書館